
Templo Romano de Scalabis

について

スカラビス (Scalabis) のローマ神殿

このローマ遺跡の一部は、ラルゴ・ダ・アルカソヴァ (Largo da Alcáçova) の城を改築する際に行われた作業の過程で発見されました。これらはローマ神殿の基壇であり、およそ15メートルにおよぶ四角形をしています。また、高さが4メートルある南側のファサードは、最も保存状態の良い部分です。

建物自体は中世に行われた一連の改築作業によって破壊されてしまいましたが、南西の角にはセラ(Cella)と呼ばれる神像安置所があったことを示す考古学的な痕跡が若干残されています。しかし残念なことに、データが不十分なため完全に復元することはできません。なお、この地域における現在までの考古学的調査の結果によって、この遺跡は紀元前1世紀ごろのものであることが明らかになっています。

問い合わせ先

Largo da Alcáçova Santarém
